

こ んにちは 社会教育です

新刊案内

開館時間

午前10時より午後4時20分まで
(毎木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家
4月の休館日

16日 23日
30日 5月7日

祝日

29日
5月4日 5日

■ あぶた読書の家 ☎76-2100

<一般> 幕末史(半藤一利) 死んだらなにを書いていいわ(萩原朔美) 私の履歴書(平岩弓枝)
あまりに野蛮な <上・下>(津島佑子) 人情屋横丁(山本一力) 彼女について(よそもとばなな)
深夜特急ノートの旅する力(沢木耕太郎) 武士の尾(森村誠一) 彼岸花(宇江佐真理) 花筏(いかだ)(島越碧) エクステンド(鍋木蓮)

■ みずうみ読書の家 ☎75-4702

<一般> 英雄の書 <上・下>(宮部みゆき) 心と響き合う読書案内(小川洋子) 文明の衝突と21世紀の日本(サミュエル・ハンチントン) 北の自然を守る(八木健三) 読まない力(養老猛志)
<児童書> オロロンとぶ島(越智道子)
<今月のおすすめ> 北海道の出版文化史 幕末から昭和まで 幕末から150年にわたり他県と異なる多彩で独自の北海道の出版活動を集大成(北海道出版企画センター集)

お知らせ

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ特別展開催決定

手のひらサイズの彫刻展「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」8回の開催を重ね、世界各国から、星のようなきらめきをもった作品が洞爺に集まりました。世界的に有名な作家をはじめ、将来が期待される若手作家まで、テーマ「手のひらの宇宙」をイメージした優品です。現在85点が所蔵作品として洞爺湖芸術館に常設展示されていますが、洞爺湖町にはこの他にも優れた作品が残されています。

展覧会後、購入によって個人所蔵となった作品は、約70作品。まさに、洞爺に愛された作品の数々といえます。

今年度は春季と秋季にわけ、個人所蔵となっているビエンナーレ作品を特別展示いたします。洞爺湖と中島を背景に、普段目にするのできない、「手のひらの宇宙」の輝きを、ぜひお楽しみ下さい。

春季開催 平成21年4月25日(土)午前9時～5月24日(日)午後5時(月曜休館)

開催場所 洞爺湖芸術館(洞爺町96 とうや水の駅から徒歩3分)

入館料 大人300円 高校生200円 小中学生100円

問合せ 洞爺湖芸術館 ☎87-2525



北海道洞爺湖サミット記念館オープン

4月20日、「北海道洞爺湖サミット記念館」がオープンを迎えます。場所は、旧火山科学館跡の洞爺湖観光情報センターの3階。

同館では、昨年のサミットで使用された円卓や拡大会合で使用されたテーブルなど、サミット関係の資料を展示します。

年中無休で、入館時間は午前9時から午後5時まで。入館料(協力金)は大人400円、中学生以下は200円。

